

任期制隊員ライフプラン集合訓練を開催 「未来予想図をしっかりと描くために」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、5月23日から6月7日までの間、各2日間の日程で3回にわたり、久里浜駐屯地及び座間駐屯地において「平成29年度任期制隊員ライフプラン集合訓練」を実施した。

本訓練は、神奈川県内の部隊等に在籍する入隊後1年以上経過した任期制隊員に対し、明確な自己分析に基づいた自らの人生設計を確立させるとともに、資格取得など能力開発の自助努力を促進させることを目的として実施したもので、57名が参加した。

参加した任期制隊員は、陸曹を目指す者や任期満了後の進路に悩んでいる者など様々であったが、一様に自分の将来について考える良い機会と捉え、真剣なまなざしで訓練に臨んでいた。特に、部外講師によるキャリア開発プランの講義においては、仕事をするときにも最も大切にしている価値観の視覚化や職業に対する潜在的な興味や関心についてワークシートを用いて確認することで、自らの適性を再認識したり、新たな一面を発見して驚いている隊員などの姿も見られた。

また、社会保障に関する講義においては、貯蓄や生命保険の重要性や退職後民間企業に就職すると自衛官在職中と比べて支出が増加することなど金銭面における現実的な話を聞き、将来を見据えたライフプランを作成することの大切さを改めて認識している様子であった。

参加した隊員からは、「これからの人生を考えるうえで、とても参考になる教育だった」などの感想が聞かれた。

神奈川地本は、「1年という短い任期の中で重大な選択を行わなければならない」任期制隊員のため、今後でもできる限りのサポートをしていきたいと考えている。



講義を受ける任期制隊員

神奈川大学での「音楽職種説明会」を支援

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、5月23日（火）、神奈川大学吹奏楽部の学生に対し海上自衛隊東京音楽隊が行なった「音楽職種説明会」を支援した。

同大学吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクールでこれまで27回金賞を受賞するなど、国内はもとより海外でも演奏活動をしており、同説明会では、将来音楽に携わる仕事をしたいと考えている学生に対し、東京音楽隊の活動内容に加え、教育隊での教育内容などを映像を交えながら説明した。また、同校OBの奏者と学生との懇談を通じて、音楽隊での生活や勤務環境、やりがいなどを伝え、学生たちは自衛隊音楽隊への関心を深めた様子であった。

学生からは、「自衛隊の音楽隊がどのような活動をしているのかを聞いて良かった。是非受診したい」「海外での公演や軍楽隊との交流を通じて、日本を代表するような仕事をしたい」などの声を聞くことができた。

横浜出張所は、「今後も、音楽隊と連携して職種説明会を実施し、優秀な音楽隊員の獲得に努めていきたい」としている。



説明に聞き入る学生たち（説明者：東京音楽隊 末次2曹）



同校OBと懇談する学生たち（OB：東京音楽隊 河口士長）

「ららぽーと湘南平塚」で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 三上2陸尉）は、6月11日（日）、大型商業施設「ららぽーと湘南平塚」において自衛隊ブースを出展し、厚木募集案内所及び小田原地域事務所と合同で、広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、災害派遣活動のパネル展示や砕氷艦「しらせ」が南極から持ち帰った氷の展示、迷彩服の試着体験などを行なった。中でも、地本マスコットキャラクターの「はまにゃん」と「たま」は子供たちに大人気で、両キャラクターの周りには常に人だかりができていた。

また、南極の氷に触れて音と冷たさを体験するコーナーや陸上自衛隊の装備品が描かれたトレーディングカードの配布は、多くの来場者に喜んで頂くなど多大な反響を呼んだ。

平塚地域事務所は、「今後も、あらゆる機会を捉えて自衛隊の活動をアピールし、自衛隊への理解を深めてもらえるよう努めていく」としている。



南極の氷の音に驚く家族



「たま」との記念撮影



「はまにゃん」「たま」に集まる親子

